

〈統計ピックアップ〉

インフルエンザ対策していますか？

はい、いいえ、インフルエンザが流行していますが、皆さん、手洗いや咳エチケットはきちんとできていますか。

本県では、インフルエンザ定点当たりの報告数が平成31年第2週(平成31年1月7日～13日)に41.76人となり、警報レベルの基準値30人を超えたため、平成31年1月16日付で「インフルエンザ警報」が発令されました。(定点医療機関58カ所、報告数2,422人)

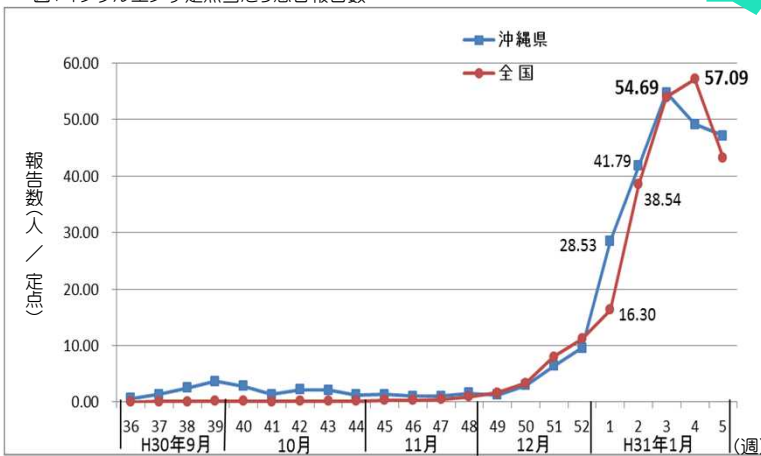
そこで今月号では、インフルエンザについて取り上げてみたいと思います。インフルエンザは通常、秋から春にかけて流行するため、流行時期に合わせて、9月から翌年8月(第36週～第35週)の1年間を流行シーズンとしています。今回は、平成30年9月から平成31年1月(第36週～第5週)のデータをみていきましょう。

まず、沖縄県の「インフルエンザ定点当たりの患者報告数(表1、図1)」からみると、平成30年12月までは10人以下でしたが、平成31年1月第1週から28.53人と急激に増えており、第3週が最も多い54.69人となっています。全国も沖縄県と同様、第1週から増え始めており、第4週が最も多い57.09人です。

表1:インフルエンザ定点当たり患者報告数

年月	週	期間	沖縄県	全国
平成30年9月	36	9/3 ~ 9/9	0.67	0.07
	37	9/10 ~ 9/16	1.33	0.13
	38	9/17 ~ 9/23	2.53	0.14
	39	9/24 ~ 9/30	3.72	0.16
10月	40	10/1 ~ 10/7	2.81	0.17
	41	10/8 ~ 10/14	1.36	0.12
	42	10/15 ~ 10/21	2.21	0.19
	43	10/22 ~ 10/28	2.10	0.19
11月	44	10/29 ~ 11/4	1.24	0.21
	45	11/5 ~ 11/11	1.36	0.35
	46	11/12 ~ 11/18	1.05	0.38
	47	11/19 ~ 11/25	1.03	0.52
12月	48	11/26 ~ 12/2	1.61	0.93
	49	12/3 ~ 12/9	1.29	1.70
	50	12/10 ~ 12/16	3.00	3.35
	51	12/17 ~ 12/23	6.43	8.05
平成31年1月	52	12/24 ~ 12/30	9.59	11.17
	1	12/31 ~ 1/6	28.53	16.30
	2	1/7 ~ 1/13	41.79	38.54
	3	1/14 ~ 1/20	54.69	53.91
	4	1/21 ~ 1/27	49.10	57.09
5	1/28 ~ 2/3	47.14	43.24	

図1:インフルエンザ定点当たり患者報告数



※定点当たり報告数(人/定点):定点医療機関から報告された患者数を報告医療機関数で割った値。 定点医療機関:県内58カ所(小児科:34、内科:24)

次に、図2「年齢別インフルエンザ報告数の割合」をみると、最も多いのは「1-4歳」の16.56%、次いで「5-9歳」16.08%、「20-29歳」11.84%、「30-39歳」11.08%となっています。「1-9歳」、「20-39歳」の患者数が多くなっていますが、子どもが罹患し、子の看病をしている親に家庭内で感染しているのかもしれない。

図2:年齢別インフルエンザ報告数の割合 (n=15346)

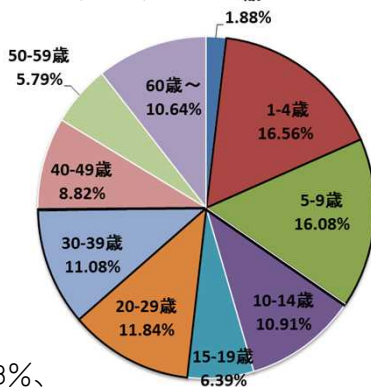
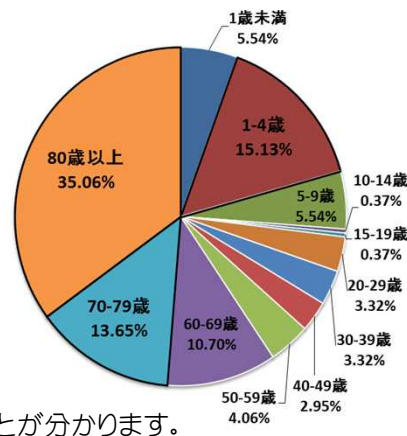


図3:年齢別入院患者報告数の割合 (n=271)



次に、図3「年齢別入院患者報告数の割合」をみると、入院患者が最も多いのは「80歳以上」の35.06%、次いで「1-4歳」15.13%、「70-79歳」13.65%となっています。高齢者や小さいお子さんの入院者が多いことがわかります。

最後に、インフルエンザの蔓延を防ぐための基本、「手洗い」と「咳エチケット」について確認しましょう。

「手洗い」の方法は、①爪は短く切る ②時計や指輪ははずす ③石けんをよく泡立て、最後は十分に水で流す ④ペーパータオルや清潔なタオルでよく拭き取って乾かす ことです。汚れが残しやすいところ(右図)を意識して洗うようにしてください。

また、「咳エチケット」とは、①マスクをする ②マスクが無ければティッシュで鼻、口を抑える ③どれも無い場合は、口を手では抑えずに、二の腕でおさえる ことです。



インフルエンザの患者数は1月下旬頃から少しずつ減少していますが、引き続きインフルエンザの予防に努めることが大切です。